



藻器堀川について学ぶ 3年生

先日12日(火)は、3年生が総合的な学習の時間に、緑川や藻器堀(しょうけぼり)川について、国土交通省と市役所の河川課の方から学びました。藻器堀川は、帯西校区を流れている1級河川です。1級河川といえば、筑後川や緑川のような大きな川を想像しがちなのですが、ある基準があって1級河川と定義されています。そういう疑問も踏まえて、今日は、子供たちも自分たちで調べてきた学びをさらに深めるために、専門家から学ぶことができ、貴重な時間となったようです。時折、クイズ形式で「藻器堀川は、緑川流域の一つですが、流域とはどんな意味があるのでしょうか？」などの問題が出されましたが、子供がスッと手を挙げて「降った雨が集まる範囲です。」と答えていて、学びの深さの一端を知ることができ、驚きました。藻器堀川は、今でも多様な生物が棲息しているようで、校区の川には、スッポンやドジョウ(準絶滅危惧種)、ドンコにギンヤンマ、ミナミメダカ(準絶滅危惧種)もいるということでした。これからも、藻器堀川について学びを深めていって欲しいと思います。



障がい者サポーター体験研修 4年生

昨日14日(木)は、4年生が「ウイズ(熊本市障がい者相談支援センター)」から講師を招き、障がい者キッズサポーター養成研修を受講しました。4年生は総合的な学習の時間の中で「福祉」を学んでいます。そこで、高齢者や障がい者の方々とのかかわり方を学んでいきます。ウイズさんからは、①「障がい」は、人やモノ、方法など周りが変われば「障がい」ではなくなるかもしれないこと ②困っている人がいれば声を掛けるか、周りの大人に教えて、困っている人と一緒に考えて協力すること ③皆さんが持っている優しい気持ちを忘れずに大切にしてください! ということを伝えていただきました。受講した子供たちの感想です。



障がい者キッズサポーターになって、今後困っている方などがいたら、今日の授業を活かして、その人の気持ちをよく考えて、できることがあったらしっかり行動して過ごしていきたいなと思いました。障がいを持った方への偏見や理解が不十分で、その人の存在を決めつけたりしない自分や社会になりたいなと思いました。/目が見えない人がいたら、今何に困っているかを聞いて、そのことを話して、耳が聞こえない人がいたら、もし電車が故障してしまった場面があったら、紙などに書いて落着いて事情を説明して、その人が不安にならないようにしたいです。